

防災

災害に備えて

今回は「**水害に備える**」です。

昨年9月の水害から、まもなく1年が経ちます。近年、日本列島はこれまでにない頻度と規模の集中豪雨に見舞われています。

集中豪雨は、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起こります。狭い範囲で数時間にわたって強く降ることで、河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害をもたらします。

■集中豪雨が発生するとき

- ▷日本付近に前線が停滞しているとき
- ▷台風が日本へ接近しているときや上陸したとき
- ▷大気不安定な状態が続き、次々と積乱雲が発生するとき

■普段からの対策

- ①**排水溝の清掃** 玄関前やベランダにある外部の雨水の排水溝は、落ち葉や土などで詰まりやすくなります。小まめに掃除しましょう。
- ②**避難情報をチェックする** 警報、注意報などの防災気象情報を積極的に入手しましょう。テレビ・ラジオの速報や防災無線のほか、電話の天気予報サービス(177)や気象庁などのホームページ、携帯電話のサイトやスマートフォンのアプリで確認できます。

■避難時のポイント

- 避難は状況に即して判断し、早めの避難や家財道具などの移動をしましょう。
- ▷履物は、長靴ではなく、ひも靴などの脱げにくく歩きやすい靴を履く。
 - ▷避難する人同士をロープで結ぶ。
 - ▷歩行に危険な水深の限度は、成人男性で約70cm、成人女性で約50～60cmが目安。無理して避難せず、救援を呼んで高い所に留まることも検討する。
 - ▷冠水した個所を通る際には、危険がどこに潜んでいるか分からないので、長い棒などを杖代わりにして、水面下の安全を確認しながら進む。

03 市政情報

市立幼稚園の入園児募集・保育園の入園希望調査／市民バスの一部路線が“予約あいのりタクシー”に変わります／国民健康保険証の更新
浄化槽の日／野焼きは禁止されています
景観計画および景観条例のパブリックコメント／定住促進奨励金／地籍調査事業成果の閲覧／土岐市の無形文化財展、林正太郎作品展

07 情報ひろば／消費生活相談／相談窓口

10 読書の小径

11 エコライフ／あのときときは

12 ほほえみだより

13 健康ガイド

14 ときをつなぐもの／プラザイベントガイド

人口と世帯数〈8月末日現在〉()内は前月比

総人口 61,582人(−48人)
男 29,794人(−12人) 女 31,788人(−36人)
世帯数 23,495戸(+11戸)

火災と救急出動〈8月〉()内は1月からの累計

火災発生 0件(15件)
救急出動 190回(1,576回)
消すまでは 出ない行かない 離れない

交通事故〈8月〉()内は1月からの累計

人身事故 15件(165件)
負傷者 13人(198人)
死亡者 2人(3人)
ヘッドホン 危険の合図 聞き逃す

今月の納期

下水道事業受益者負担金 (第2期)

納期限 10月1日(月)

問 下水道課 (内線114・115)



防災無線が聞き取りにくい…
→メール配信サービスをご利用ください(要登録)
電話でも確認できます
テレフォンサービス ☎7713